

指導資料

社会 第98号

- 小学校対象 -

平成13年9月発行

鹿児島県総合教育センター

話し合い・討論活動の充実を図る社会科の学習指導

社会科では、学習過程の様々な場面において、話し合い・討論活動が行われている。

しかし、実際には、活発に話し合いがなされているように見えても、内容が深まらないまま形式的な話し合いになっている場合が見られる。

そこで、話し合い・討論活動の充実を図る学習指導の効果的な進め方について述べる。

1 社会科における話し合い・討論活動の意義

社会科の話し合い・討論活動の意義として、次のようなことが考えられる。

- (1) 社会的事象にかかわって、多面的・多角的なものの見方や考え方を高めることができる。

話し合い・討論活動では、一人一人が考えを出し合う中で、自分とは異なる考えや立場があることに気付いたり、自分の考えに不十分さや誤りがあることに気付いたりする。このことによって、ものの見方や考え方を広げたり深めたりすることができ、また、様々な角度から思考する力や公正に判断する力を高めることもできる。

- (2) 児童の主体的な学習態度を養うことができる。

児童が主体的に学習活動を進める中で、社会的事象の意味や働きなどについて自分の考えや意見を述べることなどによって、自ら考え判断する主体的な学習態度を養うことができる。

- (3) 公民的資質の基礎を養うことができる。

社会生活の様々な問題を話し合いや討論活動によって解決していくことは、民主主義社会の基本的なルールである。社会科における様々な話し合い・討論活動を通して、その大切さを理解することは、社会の形成者としての社会的能力や社会的態度を育成することになる。

2 話し合い・討論活動の充実を図る授業づくり

話し合い・討論活動を充実するには、児童を話し合い活動に意欲的に参加させるとともに、全員が話し合いに加わり、活発に意見交換がなされることが必要である。また、話し合いをしたことにより学習内容が深まっていくことが大切である。そのためには、「何

のために」、「何について」、「どのようなことを」、「どんな形態で」話し合いをするのかを明確にするとともに、話し合い・討論のための資料や発問、論題等を工夫する必要がある。ここでは、その具体的な工夫、留意点を学習過程の各段階ごとに述べる。

(1) つかむ段階

この段階は、単元の学習の方向付けをする大切な場面である。ここでは学習問題を設定するために全員で話し合いを行うことになる。例えば、「くらしをささえる水」の単元で、「断水で困ることベスト5」を話し合わせ、これを基に「くらしをささえている水は、毎日どのように送られてくるのだろう。」という学習問題を設定していく。

ア 指導上の工夫

学習問題を明確にするため、事前に課題の意識化を図ることが大切である。その際、個々に考えをノートにまとめさせるようにする。

イ 指導上の留意点

話し合いの前に、まず児童自身の考えをまとめるための時間を設定する。

児童の意見が出やすいように、また、課題意識を高めるため、絵画・写真・図表・パンフレット・地図など適切な資料を準備したり、発問を工夫したりする。

(2) 調べる段階

この段階は、見学学習等を取り入れながら、それぞれの追究の柱ごとにグループで調べ活動をする場面である。ここでは、調べる方法やその内容等について話し合いをすることになる。例えば、先の単元では「水

源地、ダム、浄水場の3カ所の施設の働き」について、教科書や副教材、インターネットや図書館の文献等で調べることが考えられる。その際、事前に調べたい施設をどこにするか、どんなことを調べるか、どのように調べるか等について、グループで話し合いをさせる。

ア 指導上の工夫

調べる内容や調べ方について、適切なものとなるよう十分練り合いを行わせるようにする。

調べた内容の明確化を図るためにノート等の活用を図る。児童が調べたことや自分の考えとその根拠を整理できるようにする。

調べ学習の中で、児童の考えの根拠を明確にするため、資料を適切に選択することや読み取りができるように、話し合いの視点を与える等の工夫をする。

イ 指導上の留意点

調べたことや話し合ったことを生かし、児童なりの見方や考え方を尊重するようにする。

他者の意見を聞いて、その場で自分の考えを述べることは、児童にとって難しいので、自分の意見やその理由をノートに書かせておくとよい。

(3) まとめる段階

この段階は、調べたものをまとめたり、発表したりする場面である。ここでは、まとめ方や発表の仕方等について話し合ったり、学習内容を深めるために討論活動を行ったりすることなどが考えられる。例えば、「水の旅」を漫画にしたり、紙

芝居にまとめるなど，どの方法が最も適切であるかについて話し合いをさせる。

ア 指導上の工夫

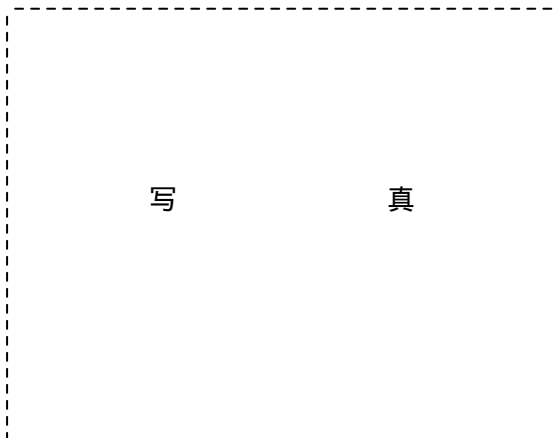
まとめ方については，どのようなものがあるか，実物を例示するなどして具体的に理解させる。

児童が発表や討論で出された意見に対して，自分の意見や疑問に思うことをノート等にメモをさせ，それを基に発言し易くする。

教師は児童が意見を発表している間，出された意見を対比させたり，討論の流れが分かるように黒板にまとめ，より多くの意見を引き出すことができるように工夫する。

イ 指導上の留意点

考えをまとめたり意見を発表したりする前に，自分の考えをノートに書かせるようにする。教師は，机間指導しながら児童の考え方を把握したり，うまくノートに書けていない児童に助言したりする。



討論に向けてのグループでの話し合い

3 話し合い・討論活動を取り入れた学習指導の実際

次は，小学校社会科第6学年「3人の武将と全国統一」の小単元の学習指導計画である。

ここでは，信長・秀吉・家康が全国統一をどのように進めていくかについて，長篠合戦図や戦国時代の勢力図などの資料を基に，3人の武将の関係や戦いの様子と特徴について話し合う。また，調べてみたい人物を選んで，全国統一を目指して行ったことを調べ，全国統一に果たした3人の役割について意見を交換することで理解を深めたり，考えたりする学習を構想した。

本指導計画では，話し合いを行う際に，事前に自分の考えをまとめたり，また，それを行っている時には，グループ内の意見をできるだけ多くノート等にかかせたり，それを基に更にまとめさせたりした。また，普段なかなか発言しない児童に対して「ノートしたことを言ってごらん。」と声掛けをした。さらに，学習過程の各段階，各場面において，個人，グループ，一斉と適宜，学習形態を工夫し，それぞれの課題追究と意見の練り上げを行う場の設定をした。

(1) 小単元の目標

織田信長，豊臣秀吉，徳川家康による全国統一を調べ，群雄割拠の世の中が信長や秀吉の活躍により全国統一がなされたことが分かる。また，家康が関ヶ原の戦いに勝利をおさめ，江戸に幕府を開いたことを取り上げて調べ，江戸幕府による政治が始まったことが分かる。

(2) 小単元の学習指導計画 (全5時間)

(川辺町立川辺小学校 海江田 健太郎 教諭の実践事例を基に作成)

過程	時間	学 習 活 動	学習態	指 導 上 の 留 意 点
つかむ	1	1 長篠合戦図を見て、信長・秀吉・家康の位置や戦いの様子等から3人の関係について周りと話し合う。 2 話し合ったことを基に、学習問題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 3人の武将は、全国統一への道をどのように進めていったのだろうか。 </div> 3 問題解決のための追究の柱を立てる。 ・ 信長、秀吉、家康の全国統一の進め方 4 3人の武将のうち興味をもった人物を選んで、グループに分かれる。	一斉	・ 長篠の戦いでは、信長、秀吉、家康がそれぞれ協力して戦っていることに着目させ、自由に意見を述べさせる。 ・ 3人の武将について、馬印や掛け図を提示し、それぞれの関係に気付かせる。 ・ 馬印 主従関係 ・ 武器 鉄砲、騎馬、馬防柵 等 ・ 3人の武将の関係に着目させ、問題意識を高める。 ・ 学習のねらいを説明し、グループ分けをする。
調べる	1	1 個人で調べ学習をする。3人の武将について、全国統一を目指して行ったことについて、一つのテーマにしぼって記事を作る。	個別	・ 3人の武将ごとにグループ分けをする。その際、なるべく本人の希望を生かしながら、誰を、何によって調べたらよいか考えさせる。 ・ 調べた記事を各グループでうまく構成できるように話し合わせる。 ・ 調べた内容について、グループ内で説明させ、その内容の確認をするために話し合わせる。
	1	1 個人の記事をグループに持ち寄って一つの「人物記事」を作る。(新聞に記事をはっていく) 2 それぞれの記事の内容について、グループ内で説明し合う。	グループ	
まとめる	1	1 それぞれのグループの仕上がった新聞を各グループに回して、質問したいことや自分の考えをノートに書く。 2 重要な語句はノートに書いておく。 3 調べた人物のことを発表し合い、それぞれの人物が行ったことを関係付け、全国統一に果たした3人の役割をグループで話し合い、意見としてまとめ、ノートに記録する。	個別 グループ	・ 他のグループの記事に対する意見や質問をノートに自由に書かせる。 ・ 重要な語句は板書し、ノートに書くように指示する。 ・ 個人の意見をできるだけ多く書かせ、グループの中でさらにまとめさせる。 ・ それぞれのグループから代表者に発表させ、それに対して質問や意見を出しやすくするための支援をする。 ・ 3人の武将の肖像画のところに出された意見を板書し、まとめる。
	1 (本時)	1 3人の武将について調べたことを基に、自分たちが選んだ人物について、意見を述べたり、相手に質問したりして、理解を深める。 2 3人の全国統一に果たした役割について討論し、まとめる。	一斉	

(3) 本時の実際 (5/5)

ア 本時の目標

- ・ 信長、秀吉、家康の3人の武将について、調べたことを基に、自分が選んだ人物について意見を述べたり、相手に質問することで、全国統一のゆくえで学習したことを振り返ることができるようにする。
- ・ 信長、秀吉、家康の全国統一に果たした役割について、話し合いをすることにより理解を深めることができる。

イ 展開

過程	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 点
つかむ	1 本時のめあてについて話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 信長、秀吉、家康の果たした役割を確認しよう！ </div>	5分	・ 3人の武将の肖像画を黒板にはる。 ・ 発表する内容について、グループで話し合うように指示する。 ・ 各自ノートの準備をさせる。
わかる	2 信長を調べたグループが発表する。 秀吉を調べたグループが発表する。 家康を調べたグループが発表する。 3 それぞれの発表に対して質問をする。 4 信長、秀吉、家康の全国統一に果たした役割について話し合いを行う。 話し合いのポイント ・ 信長は統一へ向けて、どのようなことを行ったか。 ・ 秀吉はどんな政策で全国を統一していったか。 ・ 家康は江戸幕府の基礎を固めるために、どのようなことを行ったか。	37分	・ 発表の際、事前に作成した「歴史新聞」を生かすようにする。 ・ 出された意見を板書し、整理する。 ・ 分かりにくかったことや聞いてみたいことを質問させる。 ・ 事前に書かせておいたノートを活用させる。 ・ 普段なかなか発言しない子にも「ノートに書いたことを言ってごらん。」と声を掛ける。 ・ 自分の考えの根拠を事実などから発表できた子を賞賛し、全体に発表の仕方が広がるようにする。
まとめる	5 3人の力がすべて合わさって、全国統一が成し遂げられ、江戸幕府が開かれたことをまとめる。	3分	・ 「織田がつき、羽柴がこねし天下もち、すわりしままに食うは徳川」を紹介し、3人の力によって全国統一が成し遂げられたことをまとめる。

【引用・参考文献】

文部省 『小学校学習指導要領解説 社会編』 平成11年5月

(第一研修室)